

平成30年第2回定例会（12月議会）  
産業観光委員会・分科会 提出資料

平成30年12月 3日  
観光文化スポーツ部

【議案(その他)関連】

観光戦略課	公の施設の指定管理者の指定について -----	1
	(議案第211号 秋田県立男鹿水族館)	
スポーツ振興課	公の施設の指定管理者の指定について -----	2
	(議案第212号 秋田県立武道館)	

## 公の施設の指定管理者の指定について

観光戦略課

### 1 申請団体及び候補者選定団体

対 象 施 設	申請団体及び候補者選定団体
秋田県立男鹿水族館	株式会社男鹿水族館

### 2 選定委員会の開催

○平成30年10月24日

○選定委員

氏 名	所 属	職 名 等	備 考
嘉藤 正和	秋田県観光文化スポーツ部	次 長	委員長
恵比原 史	秋田県観光文化スポーツ部	次 長	委員
小国 輝也	一般社団法人秋田県観光連盟	常務理事	外部委員
松村 讓裕	秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合	理 事 長	外部委員
成田 保		税 理 士	外部委員

### 3 審査結果の概要

申請団体については、指定管理者の候補者としての適格性を有していると判断された。

#### 【審査結果】

#### (1) 評点

	県民の平等 利用の確保	設置目的の 効果的達成 (満点30点)	効率的な 管理 (満点20点)	適正・確実 な管理能力 (満点30点)	その他必要 な事項 (満点20点)	合 計 (満点100点)
株式会社 男鹿水族館	○	24.0	14.0	22.8	18.4	79.2

#### (2) 選定委員会での主な意見

- 冬期間も含め通年で営業している男鹿水族館は男鹿観光の拠点であり、財産である。男鹿水族館の入館者数はここ数年下降しているが、最近は新たな取組を行っている水族館の人气が高まっており、この機を逃さず、周辺の新たな観光施設や宿泊施設、駅からの二次アクセスなど他の事業者と連携しながら、男鹿観光の牽引役となっていくことが重要である。
- 過去2年の財務指標を見ても経営は安定しており評価できる。しかし、入館者数を増やす方策や関連する施設の売上など、更なる収入増につながるような努力が必要である。

## 公の施設の指定管理者の指定について

スポーツ振興課

### 1 申請団体及び候補者選定団体

対 象 施 設	申請団体及び候補者選定団体
秋田県立武道館	一般財団法人秋田県総合公社

### 2 選定委員会の開催

○平成30年11月1日

○選定委員

氏 名	所 属	職 名 等	備 考
恵比原 史	秋田県観光文化スポーツ部	次 長	委 員 長
飯坂 尚登	秋田県観光文化スポーツ部	参事(兼) スポーツ振興課長	委 員
伊藤 恵造	国立大学法人秋田大学	准 教 授	外部委員
塚田 敏春	秋田県スポーツ推進委員連絡協議会	副 会 長	外部委員
成田 保		税 理 士	外部委員

### 3 審査結果の概要

申請団体については、指定管理者の候補者としての適格性を有していると判断された。

#### 【審査結果】

#### (1) 評点

	県民の平等 利用の確保	設置目的の 効果的達成 (満点20点)	効率的な 管理 (満点30点)	適正・確実 な管理能力 (満点30点)	その他必要 な事項 (満点20点)	合 計 (満点100点)
一般財団法人 秋田県総合公社	○	16.0	24.8	24.8	15.6	81.2

#### (2) 選定委員会での主な意見

- 従来からの武道愛好者への利用促進に加え、子どもや高齢者、働く世代など、武道以外の新たな利用拡大に向けた取組を積極的に行い、生涯スポーツの振興につながるよう努力してもらいたい。
- 過去2年の財務指標を見て、経営状況は健全で安定していることは評価できる。ただし、県民会館の閉館などにより事業収益の減少が見込まれることから、更なる経費節減を図るなど安定性を維持してもらいたい。